

# 「現場の声かしたい」

就学前教育充実へ

## 県教育長、保育園を視察



保育園を視察する小野寺俊教育長(中央)ら県教委関係者＝水戸市開江町

就学前教育・家庭教育の一層の充実に向け、小野寺俊教育長ら県教委関係者が13日、水戸市内の民間保育園を視察した。本県教育行政の最重要テーマに掲げる就学前教育・家庭教育の施策に、現場の生の声を生かすことが狙い。

視察したのは小野寺教育長のほか、県教育委員や県就学前教育・家庭教育推進室の職員ら約20人。水戸市開江町の「すみれ第二保育園」を訪れ、同園の保育方針の説明を受けながら、年

齢に応じた子どもたちの活動風景を見て回った。

県教委では幼児教育と小学校教育との円滑な接続を目指しており、現場の実情に添った実施計画作りなどにつなげるため、県内の幼児教育施設の視察を行っている。

視察後、小野寺教育長は「幼児教育の実態、大変さ、課題などについて改めて理解できた。現場で学んだことを今後に生かし、しっかりとした幼稚園・保育園・小学校の連続する育ちの流れをつくりたい」と話した。

(朝倉洋)

任をもってサポートしていく。市教委が関与しないことはありえない」と困惑した表情で話した。

(佐藤清孝)

## 保・幼・小の教育連携の道を探る

### 県教育長、保育園視察

就学前教育と家庭教育の充実を図るため、小野寺俊教育長らが13日、水戸市開江町のすみれ第二保育園を視察した。県教育長が管轄外である保育所を訪問するのは異例で、幼児教育と小学校教育の連携を深め

る狙いがある。

小野寺教育長や県教育委員らは、0歳児から5歳児までの各クラスを見学。その後、同園の職員らと交え



保育園現場の視察に訪れた小野寺・県教育長(中央)ら

て意見交換した。

山口典子園長は保育所が小学校に提出する引き継ぎ書が、学校によって求める形式が違うなどを指摘。

「生で保育の現場を見ていただいてよかった。幼児教育との接続につながってくれば」。小野寺教育長は「保・幼・小を接続する上での課題も見えた。制度の壁を越え、連続する流れを作りたい」と話した。

県は教育の基本方針を定める「いはらき教育プラン」で、就学前教育の充実を重要テーマに位置づけている。